

授業イメージをつくりましょう。

	小学校
教科 ・ 領域等	国語科
授業タイトル・単元名等	「おもちゃまつり」へ ようこそ
対 象 学 年	2 学年
実 施 場 所	教室
I C T活用授業の内容	授業のねらい おもちゃの作り方や遊び方を相手にわかりやすいように説明の仕方を工夫したり、順序よく説明したりする。 授業の流れ 前時までに各班で「おもちゃの名前」「用意する物」「作り方」「遊び方」などをワークシートに書き、相手にわかりやすい説明の仕方を話し合い、練習する。 (本時) ・ 前時までの練習をふまえ、手作りおもちゃの説明をグループごとに発表する。 ワークシートや図、資料などを実物投影機を使ってスクリーンに映し出し、それを使って聞いている人にわかりやすく説明する。 ・ 質問タイム（聞き手が、発表したグループに質問する。） ・ 聞き手は発表の仕方についてひとこと感想を書く。 全グループが発表する。 I C T活用のねらいと授業での位置づけ 図や文を実物投影機でスクリーンに映し出し、それを見ながら説明した方が、ただ話すだけの説明に比べより相手にわかりやすく、また皆の思考を集中させるためにも効果的である。また図や文を時間をかけて模造紙などの大きな紙に書かなくても、実物投影機は手軽に大きく映し出すことができ便利である。
活用する I C T	実物投影機、スクリーン